

令和元年度

# 高校生海外派遣交流事業 報告書



■期 間 2020年1月6日(月)~1月10日(金)  
■派遣先 台湾 台北市・桃園市



# 事前研修





## 台湾へ向けて出発



## 桃園国際空港着



## 桃園高級中学校での様子





# 国立台湾大学図書館



# 国立台湾大学 人類学博物館



# 日系企業の視察 (Atre Japan Rail Café)





# 起業家育成プログラム体験 (Next Commons)



## たくさんの思い出





# 日程表

行程			内容	
1	1/6 (月)	遠野発 仙台空港着 仙台空港発 桃園空港着 ホテル着	10:10 13:00 16:15 19:30 21:30	・保護者や関係者の皆さんに見送られ遠野を出発。仙台国際空港から、台湾の桃園国際空港に向けて旅立ちました。現地での様々な出会いを楽しみに、台湾へ向かいました。
2	1/7 (火)	桃園市	午前	・桃園高級中学校で教育交流を行いました。游文聰校長先生をはじめ、先生や生徒の方々が心のこもった歓迎をしてくださいました。歓迎式の後は、校内ツアー、スカイランタンづくりで交流を深めました。派遣生は、英語で遠野PRのプレゼンテーション(英語)と、歌(中国語)を発表しました。
		台北市	午後	・その後は、主要観光施設(故宮博物院、忠烈祠、龍山寺)の見学。現地ガイドから、台湾の文化と歴史を学びました。
3	1/8 (水)	台北市 (国立台湾大学)	終日	・国立台湾大学図書館と人類学博物館で、伊能嘉矩に関する視察研修。伊能が収集した資料や展示を説明してもらいながら、その功績を学びました。  ・学食にて昼食をし、中正記念堂に立ち寄った後、JRが台湾で展開する、インバウンドの拠点Atré Japan Rail Caféを視察。日系企業の事業概要について学びました。  ・その後は、世界で2番目に高いビルといわれている台北101へ。夕食後は、夜市を見学しました。
4	1/9 (木)	台北市	終日	・ネクストコモンズの台湾拠点のメンバーにコーディネートいただき、遠野の物産品(松陽園の干しりんご)のニーズ調査とPRを行いました。午前中は、伝え方の手法を学び、午後はフィールドワーク。実際に街へ出て、台湾の人たちにアンケート調査を行いました。
5	1/10 (金)	ホテル発 桃園空港着 桃園空港発 仙台空港着 遠野着	6:15 8:00 10:20 14:25 18:15	・早朝にホテルを出発し、桃園国際空港から仙台国際空港へ。その後バスで遠野へ向かいました。あえりあ遠野前では、多くの方にお出迎えいただき、無事に遠野に到着しました。



## 派遣生・引率者名簿

### 派遣生

番号	氏名	性別	学校	個人テーマ
1	あべ みさき 阿部 光沙季	女	遠野高校1年	台湾の日常の中にある 「日本」について探る
2	おがさわら ゆうな 小笠原 結奈	女	遠野高校1年	台湾の環境と文化の違い、 遠野と台湾の繋がり
3	しもぎき なお 下関 菜桜	女	遠野高校1年	台湾から見た日本について
4	はた うたな 畠 詩奈	女	遠野高校1年	台湾の学校生活や教育について
5	きくち ひな 菊池 妃奈	女	遠野高校2年	台湾の日常
6	いれい ゆうき 伊禮 優貴	男	遠野緑峰高校2年	台湾研修で日本と違うと思ったこと
7	ただ りょうま 多田 凌磨	男	遠野緑峰高校2年	日本と台湾の食文化の違い
8	きくち しゅん 菊池 俊	男	遠野緑峰高校2年	台湾と日本の生活の違い

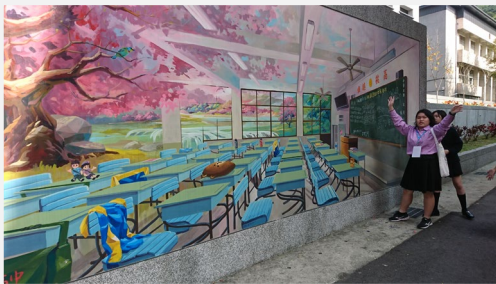
### 引率者

番号	氏名	性別	備考
1	あさくら たけひろ 朝倉 雄大	男	遠野高等学校教諭
2	こまつ さきこ 小松 咲子	女	遠野緑峰高等学校教諭
3	おいかわ としえ 及川 敏恵	女	(一財)遠野市教育文化振興財団事務局主事





# Misaki Abe









## 1 テーマ設定の理由

日本の歴史を学ぶことが好きなので、過去に日本と深い関係であった台湾に、現在はどのような形で日本統治時代の面影が残っているのか知りたいと思ったから。

親日家の方が多いことで有名な台湾ですが、そんな台湾には、現在、どのような日本の店や商品がどれくらいあるのか知りたいと思ったから。

## 2 内容と結果

### (1) 台湾に残る日本の面影について

台湾には、過去に日本の統治下であったという歴史があるため、その時の面影がどのように残っているかを調べた。

＜結果＞

- ・台湾の駅名には、松山など、日本の地名や名前などに由来したものがたくさんあった。
- ・日本が台湾を統治していた時代に建てられた建物が今も残っていた。(台湾総督府、台北市立第一女子高級中学、台湾銀行本店など)
- ・お年寄りの方には、日本語を堪能に話せる方がとても多い。

＜感想＞

- ・自分が思っていた以上に、日本の面影が残っていて驚いた。
- ・日本に統治されていた時代の建物がたくさん残っていたが、東京駅にとっても似ている建物などがあって、見ていてとても面白かった。今回の研修では、じっくりと建物を見れなかったのが次に台湾に旅行で訪れた際には、見てみたいなど思った。
- ・台湾と日本の歴史的なつながりを、実感することが出来て良かった。もっと台湾や日本の歴史的なつながりを知りたいなど思った。

### (2) 台湾にある日本の店や商品について

台湾には、どのような日本の店や商品がある

のかを調べた。

＜結果＞

#### ① 台湾に展開されている日本のお店

セブンイレブン ファミリーマート

吉野家 くら寿司 スシロー など

このほかにも、日本でとても有名なラーメン屋さんなどがたくさんあった。

#### ② 台湾コンビニやスーパーマーケットで売られている日本の商品

日本で人気なお菓子は、ほとんど台湾のお店にも置いてあった。(ポッキー、グミ、チョコレート、ポテトチップス、ベビースターラーメンなど)

並べられている商品がほとんど日本生まれの商品である陳列棚もあった。

＜感想＞

- ・街を歩いていると、日本の店がたくさんあったり、コンビニなどに入ると、日本の物がたくさん売られていたりしたけど、店名や商品名が日本の表記と違っているのもあったので、一つ一つどのような表記がしてあるのか見るのが調査していくうえでとても楽しかった。日本の物がたくさんあって嬉しかった。

## 3 まとめ

今回、このテーマで調査をしてみて、台湾と日本のあらゆる結びつきがどれほど強いのかを知ることが出来た。また、台湾の中にこれほどまで日本の物があるとは思っていなかったのも、とても驚いた。台湾にこんなにも日本生まれの物があったので、日本にはどのような台湾生まれの物があるのか調べてみようと思う。

日本や台湾の物がお互いの国を更に行き交うことで、両国の結びつきが今よりも強いものになればいいなど思った。



## 研修全体を通して感じたことや学んだこと 「成長と新たな結びつき」

遠野高等学校 1年 阿部 光沙季

今回の台湾研修は、毎日が驚きと刺激の連続で、とても中身の濃いものにすることが出来ました。また、台湾で研修を行ったどの日も、台湾の方々の温かさや優しさに触れ、最初はどんなことが起こるのかと緊張していた研修も、だんだんと緊張がほぐれていき、リラックスをして臨めたことで、より多くの事を学び、吸収することが出来たと思います。

私は、今回の台湾研修を通して、台湾の歴史や、伊能嘉矩の功績などを学ぶことが出来たとともに、日本と台湾の深い結びつきについても学ぶことが出来ました。もともと、台湾には親日家の方が多く、台湾と日本の歴史的な結びつきは知っていましたが、今回実際に台湾に行き、街の様子などを見てみて、駅の名前が日本人の名前に由来した名前だったなどと、台湾と日本の結びつきを表しているようなことが多くありとても驚きました。今もこのようにして日本が台湾の中に根付いているのだなと嬉しく思いました。

また、桃園高級中学校の皆さんとの交流や、フィールドワークなどを通して、自らのコミュニケーション力なども上げることが出来たと思います。事前にコミュニケーションをとるために、準備していたことや、イメージしていたことは、あまり活かすことが出来なかつたし、自分が満足するようなコミュニケーションを取れなかつたことは、反省点として残りました。しかし、それでも自分なりに伝えようと一生懸命話することが出来たと思うし、自分のつたない英語を台湾の方々に分かってもらえたことがとてもうれしく、自信になりました。そして、何よりも、初めての人とのコミュニケーションを楽しむことが出来て良かったです。私は人見知りで、初めての人だと緊張してしまい上手く自分

の事などをうまく話せないのですが、今回は、思い切って話してみた結果、相手とより楽しく会話をすることが出来ました。コミュニケーションをとるほかにも、街に出て、アンケートをとるときにどのようにすれば相手の方が快く協力して下さるか、物事をPRする時は、どんなことをするのが有効なのかなども考えたり学んだりすることが出来ました。

今回の研修で学んだこと、感じた事を、これからの生活や、自分の進路に生かしていけるようにしていきたいです。そして、自分をより一層成長させることが出来るように頑張っていきたいと思います。

また、遠野市の国際交流のさらなる発展の為に、自分が出来ることは限られているとは思いますが、今回得ることが出来た台湾の方との新たな結びつきを大切にして出来ることを精いっぱいしていけたらいいなと思います。

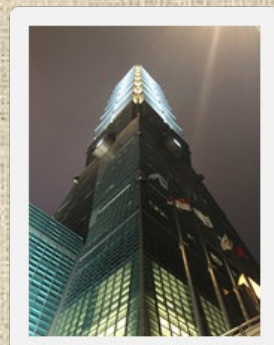
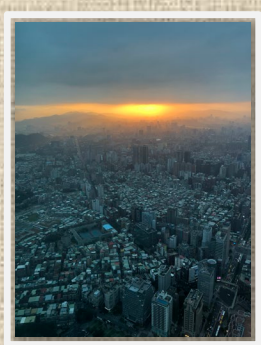
今回この研修に関わって下さったすべての方のおかげで成長することが出来たと思います。本当にありがとうございました。

### 台北の紹介

#### 龍山寺

合格祈願の神様や、恋愛成就の神様など、さまざまな神様が祀られているお寺です。日本のお寺とは参拝方法などが違います。お参りや願い事などをする際は、複雑な手順があるそうですが、その分、願い事が叶ったという声が多いお寺です。





**OGASAWARA, Yuna**







## 1 テーマ設定の理由

研修を通して台湾の環境や文化に実際に触れ、国際的な視野をもっとひろげたいと思ったからです。また、遠野と台湾は昔からとても強い絆で結ばれています。現地に行ってそのことについてより詳しく知り帰ってきてまたみんなに伝えたいと思ったからです。

## 2 内容と結果

### (1) 環境について

台湾の電車のホームは電車とホームとの隙間がなく、安全なので小さい子がいても安心できるなあと思いました。また、アパートの窓には扉がついて安全面がしっかりしている印象をうけました。それとは別に町ではたばこを吸っている人が多くみられ、たばこの使い捨てが歩道付近に捨てられているのが多く日本ではたばこに厳しいので日本のいいところだなと思いました。

### (2) 文化について

文化については昔は言語が違う 16 種類の民族に分かれていたそうです。その昔は首狩りの文化というものがありました。首狩りの文化とは他の民族の首を狩りその狩った首を持って帰ることによって一人前の男になります。また、その一人前になった男はしるしに入れ墨をいれて結婚ができるのだそうです。また、女も同じく機織りができるようになれば、いれずみをいれて一人前になり結婚できるようになります。このように台湾では昔、大人になるためにやらなければならない任務がありました。

### (3) 台湾人について

桃園高校と一緒にランタンを作った同級生は私が好きな韓国のアイドルグループを好きだったので話が弾み、明るくなんでも話しかけてきたのでとても話しやすかったです。また、電車では私のバックのチャックがあいているのを見て親切に教えてくださり本当に人柄がよく、話しやすかったです。

### (4) 遠野と台湾について

まず 1895 年に伊能嘉矩が日本から台湾にわたり、そこから 30 年間人類学を研究し毎日日記を書いていた。日記は台湾の人たちにとってとても重要な資料となりました。台湾国立大学の方も伊能嘉矩にはとても感謝しているといっていました。

## 3 まとめ

今回の研修では自分の調べたいことをしっかり決めてそれを頭の中に入れとき考えて写真を撮ったりメモを取ったりしながら楽しむことができたのでよかったです。





## 研修全体を通して感じたことや学んだこと 「国が違っても」

遠野高等学校 1年 小笠原 結奈

まず、この研修を通して感じたことは大き分けでふたつあります。

一つ目は笑顔の大切さです。私が桃園高校に行ったときランタンづくりをしました。そのときに二人の同級生が笑顔で一緒に作るのを誘ってくれました。笑顔で明るく誘ってくれた時に感じたことは台湾にきて少し不安だった私は笑顔で明るく話しかけてくれたことで安心感を感じました。その後も、その二人と話してスムーズにランタン作りも進み、自然に馴染むことができました。さらに話が進み自分の好きなものの話になり、私の好きな韓国のアイドルグループをその二人も好きだったので話すのがとても楽しく、いい交流にすることができました。その二人の笑顔で私は不安が消えて交流をありのままに楽しむことができ、笑顔は誰と話すにも重要なことだと改めて思いました。

二つ目は台湾人の優しさを感じました。私が電車に乗っているときに前に座っていた台湾人が私のバッグチャックが開いていることをわざわざ親切に教えてくれました。実際に私が日本で目の前の外国人がチャックが開いても声をかける勇気がないと思います。そう考えると、その私に声をかけてくれた人は本当にすごいなと思いました。また、コンビニの店員さんにスーパーの場所を聞いたらその店員さんはわからなくて帰ろうとしたときに、後ろに並んでいたお客さんが私たちの話を聞いていて声をかけてくださり、丁寧にゆっくり英語で教えてくれ、私たちはスーパーまで行くことができました。そして干しリンゴをPRした時には私たちを相手にきちんと最後まで話を聞いてくださりました。また、話しかけた人たちはみんな笑顔で話してくれてこっちも笑顔で楽しく話すことができました。この四日間の中で、たくさんの台湾人の優しさを感じました。

最後に私はこの研修を通して台湾人の心の温かさをたくさん感じました。これにより、私は今後の生活でもし外国人が困っていたら声をかけられるようになりたいです。また、この台湾から日本に来る人数より日本から台湾に行く人数のほうが多いそうなのでもっと台湾のよさを日本人たちに知って日本と台湾の仲がより深まっていけたらいいなと思います。



### 台北の紹介 龍山寺

台北に行き一番印象に残っている場所は龍山寺に行ったとき、いろんな国の人が拝みに来ていてそれぞれの国の文化を感じました。また、そこでは神様がたくさんいて日本の拝み方で拝みましたが、今度行ったときには台湾のやり方で拝みたいと思いました。

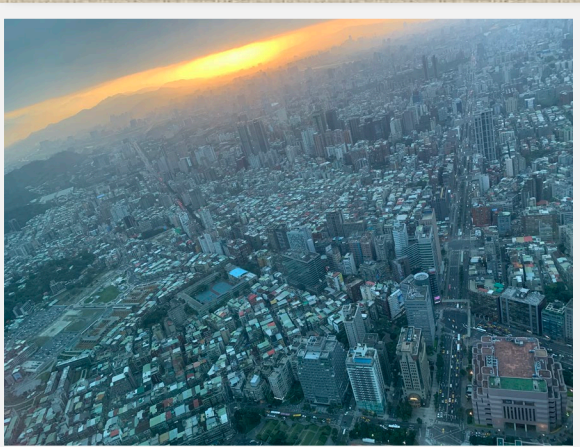






SHIMOZEKI, Nao







## 1 テーマ設定の理由

私は、台湾といえば親日家というイメージがありました。台湾の方は、日本のどのようなところが好きで気に入っているのか、日本はどう映っているのか、知りたいと思いました。海外から見た日本を様々な視点から見て、考えてみたいと思いました。

## 2 内容と結果

### (1) 親日家について

私が訪問した桃園高校でも、日本のドラマや映画、J-popなどを好む人が多く、日本の俳優やアーティストも有名でした。こうした背景から、日本語を学びたいという人も多いそうです。学校では、日本語で話しかけてくれる生徒もいて、日本についての話題も多く出てきました。みんなとてもフレンドリーで話しやすく、とても楽しかったです。若い世代の方も日本に興味を持ってきているんだと感じました。

### (2) 日系企業について

今回の研修でAtre Japan Rail Café等の日系企業を見学しました。

Atre Japan Rail Caféでは、台湾にインバウンド拠点を置き、日本を訪れる方を増やそうという事業を行っていました。日本には何度も訪れたことがある人が多く、東京、大阪、名古屋だけではなく、今は、雪の降る東北地方にも興味を持ってくれる人が増えていると聞きました。日本の四季、各地の美味しい食べ物を体験してみたい人、興味のある人が増えていることから日本の良さがしっかり伝わっているんだと感じました。

### (3) 日本統治時代の影響について

日本が統治していた時代の建築物が台北市、桃園市に多く残っていました。中華民国総督府は、日本銀行本支店の建築を手掛けた方がデザインし、その周辺には、日本の技術を生かし当時の耐震構造基準に則した建築になっているそうです。また、岩手の先人たちが民俗学や医療の発展、近代化に大きな役割を果たしました。このような歴史からも今でも台湾の方は、日本に親しみを持っていると思います。

### (4) 現在の日本の印象について

台湾の方は、東日本大震災の時も、すぐに災害援助に携わって下さいました。困っている人がいたら、助けよう！という気持ちは国境を超えても変わらないものなんだと思いました。

現在は、日本のアニメがとても人気で、そこから日本に興味を持つ人も多いようです。日本のあらゆる技術、日本の美を認められ、今でも変わらず、愛されていると思いました。

## 3 まとめ

台湾の方の親日家が多い背景には、日本の映画、アニメ、J-popなどの日本の技術、日本の美を認め、気に入っていると分かりました。近い国ということもあり、災害が起こればすぐ助けに来てくれる温かさ台湾の良さだと思いました。高校でも、温かい歓迎を受けて、心がとても温かくなりました。今回の研修で、日本の良さを改めて感じる事ができました。また、日本は、日本人は、愛されているんだと感じることができました。



## 研修全体を通して感じたことや学んだこと 「台湾の方と出会えて成長できたこと」

遠野高等学校 1年 下関 菜桜

今回参加した台湾派遣は私にとって一生に残る素敵な思い出になりました。私はこの派遣を通して多くのことを学びました。

まず、桃園高校を訪問し、温かい歓迎を受け、桃園の生徒、先生に再会できて、とても嬉しく感激しました。初めて会ったときは、緊張して話すことができず、後悔していたので、今回は自分から話しかけようと決めていました。生徒たちは、英語だけではなく、日本語でも話しかけてくれたので、緊張が解け、笑顔で楽しく話すことができました。私が、一番影響を受けたのは、英語力の高さです。発音もよくきれいな英語で、私も頑張って勉強しなければと、刺激を受けました。日本では経験できないことも多く、下手な英語でも、ジェスチャーを交えながら、自分の意思を伝えようと努力できたと思います。高校で印象に残っていることは、折り紙でスカイランタンを作ったことです。お互いにメッセージを書いて、交換しました。台湾の学生は、「一期一会」と書いてくれて日本語で書いてくれたのが嬉しかったし、驚きました。とても素敵な仲間と出会えました。

次に、台北市、桃園市の街並みは、台湾の歴史を感じさせる美しい建物ばかりでした。観光施設は、日本ではあまり見られない、大きく迫力があり、カラフルなものでした。そこには、古いやパワースポットがたくさんあり、大勢の人が訪れていました。映画のワンシーンのような素敵な街並みが気に入りました。また、台湾の方は、親切な人が多いと感じました。道を尋ねても、フィールドワークで話しかけても、嫌な顔せず、話を聞いてくれる人が多く、安心して研修をすることが出来ました。

例えば、フィールドワークで最初に話しかけた方は、私たちが日本人だとわかると、その方が日本に住んでいたこともあり、流暢な日本語で話し

てくれました。日本語を話せる人の多さにも驚きました。また、言葉の壁があっても、伝えようとするのが大切なんだと感じました。相手の目を見て、笑顔で話すことで、心が通じることもあると思います。笑顔は、世界共通のコミュニケーションの一つだと改めて感じました。

この派遣を通して、後悔のないように積極的に行動すること、笑顔が一番のコミュニケーションであることを強く感じさせられました。さらに、様々な視点から、物事を考える力も身につけることができたと思います。研修中は、驚きと発見の連続で、毎日、刺激を受けていました。高校訪問で、同世代の子が何事にも全力で頑張っている姿を見て、私も夢に向けて、毎日少しずつでも積み重ねをしていこうと思いました。

この派遣で学んだことをこれからの学習、進路実現に向けて生かしていきたいです。海外から日本を見ることで、日本はいいところだなと感じたので、日本人として自分の国をもっと知りたいとも思いました。この派遣に参加できたことに感謝し台湾の良さも多くの人に伝えていきたいです。

### 台北の紹介 中正記念堂

蒋介石を讃えるために作られた記念堂です。本堂の中には蒋介石の像があり、この座像までの階段は本人が死去した年齢と同じ89段になっています。この蒋介石像は故郷北京の方角を向いて座っているそうです。

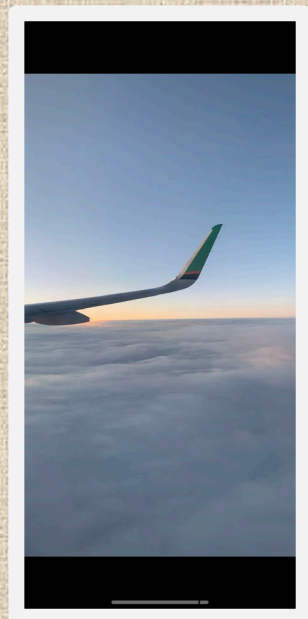
ここでも、衛兵がおり、1時間に1回衛兵交代式が行われます。息が揃った動きで、カッコいいです。本堂から見た景色は、台湾の歴史を直接感じる事ができる場所だと思います。



# HATA, Utana









## 1 テーマ設定の理由

私は、台湾の学生の勉強量が世界の国々と比べてとても多いことや、英語教育のレベルが日本よりはるかに高いことを知り、台湾の学習や教育についてとても興味をもちました。また、同じ高校生としてどんな学校生活を送っているか知りたいと思いました。台湾の教育や学校生活を調べて日本との違いを知り、自分たちの学校生活にも役立たせたいと思い、このテーマを設定しました。

## 2 内容と結果

### (1) 台湾の学生の勉強時間について

台湾の学生の勉強量はとても多いと事前に学んだが、実際はどうかと気になって台湾の高校生に1日どのくらい勉強しているのか聞いてみました。台湾の高校生は家で1日3時間くらい勉強しているそうです。また、テスト期間しか勉強しないという人もいました。台湾の生徒は家での勉強ではなく、学校や塾での勉強が充実しているから成績がいいのかなと思いました。

### (2) 学校生活について

台湾は日本と同じような学校生活を送っていると感じたが、一番驚いたのは小学校から高校まで昼寝の時間があることです。日本では学校で寝ると注意されるのが普通なのに台湾では昼寝をしないと注意されるそうです。日本でもこのような規則を取り入れれば授業中に寝る人も減ると思いました。また、台湾の校舎は設備が日本よりとても充実していて過ごしやすそうだと感じました。

### (3) 校則について

台湾の高校生と交流したときに髪色や身に着けているものが自由で校内でも自由に過ごしているような生徒が多く日本に比べて校則は緩いと感じました。また、部活動を必須としていないのは時間を効率的に使って勉強できるのでとても良いと思いました。

### (4) 英語教育について

台湾では、多くの人が幼稚園の時から英語幼稚園や英会話教室に通っています。また、台湾は経済的な理由で英語の塾に通えない人のために学校での英語教育にも力をいれています。やはり英語教育を始めるスタートが遅いのは台湾と日本の英語力の差が出てくる大きな原因だと思いました。台湾の高校生と英語で話してみると発音の良さや流暢さが全然違い、語学力の高さを実感しました。日本の教育の遅れを感じ、もっと頑張らないといけないと思いました。

## 3 まとめ

台湾では、日本と同じような学校生活をおくっているように見えたけど、英語学習を始める早さや放課後の使い方の違いで日本が遅れていると感じてしまうのだと思いました。実際に台湾の高校生と話してみて英語や日本語がとても流暢でコミュニケーション能力もあったので、自分の力不足さが改めてわかりました。また、普段の学校生活の中にも昼寝の時間があったり、部活が必須じゃない学校が多かったりたくさんの違う点を見つけることができました。台湾の学生と交流してたくさんの刺激を受けたので今後の学校生活に生かせるように頑張りたいです。



## 研修全体を通して感じたことや学んだこと 「言葉だけじゃない」

遠野高等学校 1年 畠 詩奈

私は、台湾研修のさまざまなプログラムを通して、自分から行動する力が付きました。

まず、1日目におこなった桃園高校の生徒たちとの交流。桃園高校の生徒は12月に遠野に来てくれて交流をしましたが、そのときは全然話せなくてとても後悔が残りました。だから今回は自分から話しかけて色々な話題を話すことを目標にしました。校舎見学や折り紙をしたり、一緒にご飯を食べたりしながら色々な話ことができました。最初のほうは前みたいに自分の英語が間違っていたらどうしようとか考えてしまっていたけど、台湾の高校生は日本語でたくさん話しかけてくれて私が話すことも理解してくれてたくさんの刺激を受けました。また、言葉だけでなく表情やジェスチャーで伝えることも大切だと実際に外国の人と話して学びました。

台湾大学では伊能嘉矩について学んで遠野と台湾の繋がりをさらに深く知ることができてとてもいい経験になりました。様々な国際関係は歴史的背景にも目を向けながら学ぶことが大事だと感じました。

そして、一番不安だったのはビジネス研修です。初対面の人に話しかけるのも苦手なのにそれを外国人にするのでとても不安だったし緊張しました。話しかけると怪しまれるものだと思っていたけど、一番最初に話しかけた女性2人組は私たちが「日本の高校生です」と言うとても興味をもって来て、話すことをちゃんと目を見て理解しようとしてくれました。そのあとに話しかけた方たちも遠野について興味をもってくれたし、研修に関係のないことも色々聞いてくれて緊張せずコミュニケーションをとることができました。台湾の方たちの人柄の良さや外国人に対する優しさを感じることができました。言葉が理解できなくても、もう少しゆっくり話してくださいもう一度

お願いしますなど言えば理解できるように話してください、今まで自分は間違いを気にしすぎていたなと思いました。一番不安だったのに、研修が終わるころにはもっとたくさんの人と話してみたいと思うようになっていました。

今回の台湾研修では、自分から話さなければいけない場面が多くあったので自分から行動したり話しかけたりする力がついたと思います。5日間あっという間でしたが、1日1日がとても濃くて短い期間でも人は成長できるのだと実感しました。私はこれから様々な国際イベントやプログラムに参加したいと思っていますが、どれに参加しても今回の台湾研修で学んだことは生きると思います。台湾研修に携わってくださった遠野市の方々やサポートしてくださった先生方や親に感謝して今後の学校生活や遠野市に貢献できるような人になれるように頑張ります。

### 台北の紹介 華山 1914

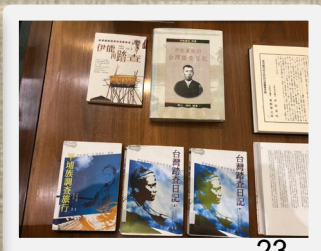
日本統治時代の古い建物をカフェや雑貨屋に再利用している場所です。遠野をPRするフィールドワークのときに行って、雰囲気がとてもよかったです。落ち着いた感じで様々な世代の人が楽しめる場所だと思いました。古い建物を再利用しているのは遠野の観光にもとても生かせると思いました。



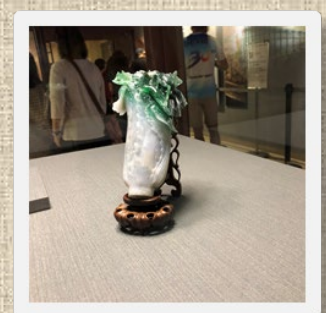




# KIKUCHI, Hina









## 1 テーマ設定の理由

日本とは気候や文化が違う台湾という国の生活はどのように違い、逆にどのような点で日本との共通点があるのか気になった為。

## 2 内容と結果

### (1) 人、町の様子について

- ・台湾の気候は暖かく 15度～25度くらいの気温でしたが、コートやダウン、マフラーなど防寒着を着用している人が多く見られた。
- ・交通機関はバイクやタクシー、バスなどが多く、レンタルできる自転車もあった。電車内は優先席があり、日本と同様に年配者や、妊婦などのために配慮されていた。
- ・町並みは、ビルや商業施設が立ち並びにぎわっている印象を持った。また、食べ物や花、服などを道端で売っているところも見られた。日本の企業も多く、吉野屋やスシロー、明光義塾などがあることに驚いた。またコンビニのセブンイレブンとファミリーマートが街のいたるところでみられた。



### (2) 学校について

- ・私たちが訪れた桃園高級中学校は全校生徒が約 2400 人で敷地も広く、教室の数も多い。専攻する学科や日本にはない部活動があった。生徒と先生の印象はあたたかく、とてもフレンドリーだった。英語の能力が優れていて、日本と台湾の英語の学習時間を比較すると約 5 時間も差があることに驚いた。
- ・国立台湾大学は台湾の人だけではなく、海外からの留学生も多くいた。学力が高く、様々な学部があった。歴史を感じさせるものがいくつもありとても興味深かった。

### (3) 文化について

- ・忠烈祠、萬華區、中正記念堂、士林區、国立故宫博物館などの観光施設を訪れた。台湾の伝統的なものや、台湾の歴史を学ぶことができた。日本統治時代のものも多く残っており、日本との関わりを学ぶことができた。
- ・国立台湾大学の図書館では伊能嘉矩について学んだ。台湾の民族を研究し、台湾の歴史に大きな貢献をした。遠野の人としても尊敬できる人だと思った。

## 3 まとめ

台湾は日本と違う点が多い一方で、共通する点も多く見られた。日本との関わりが多く、親しみやすい部分も多かった。歴史的なかわりがあり、学ぶべきことがたくさんあった。今回の派遣で、自分の考え方が深まり、今後の自分の進路に大きくつながると感じた。



## 研修全体を通して感じたことや学んだこと 「台湾との繋がり」

遠野高等学校 2年 菊池 妃奈

1月6日から10日にかけて台湾で研修を行いました。私がこの台湾研修を応募した理由は二つあり、もともと異文化に興味があったことがひとつと、もうひとつは国際化が進む現代の社会でグローバルな視野を持ち、またコミュニケーション能力も身に付けたいと思い応募しました。そして台湾は親日であることから安心して派遣に臨めるいい機会だと思いました。実際に行ってそれを実感することもできました。

事前研修では、台湾について様々なことを学び知識や理解を深めることができました。今回の研修のミッションの干しリンゴのPRを考えるときに、みんなで案を出し合い、台湾で実際にアンケートや試食をしてもらうためにたくさんの準備をしました。初めは、みんなあまり話すことができずでしたが、回を重ねるごとにどうすればわかりやすく伝わるか、どのようにPRするかを考えることができました。このような事前研修を経て私たちは台湾に向かいました。

台湾派遣二日目に、桃園高級中学校を訪れ生徒の皆さんと交流する機会がありました。遠野高校の5人は12月に緑峰高校で桃園高級中学校の生徒さんたちと交流していたので、何人かは話しかけてくれました。高校についたときはとても暖かく歓迎してくださり本当にうれしかったです。生徒の皆さんとは主に英語で会話をしました。相手の言葉を聞きとれるものの、英語の発音や能力の違いを感じ自分の学習が足りないことを改めて思いましたが、自分からも積極的に話しかけに行き仲を深めることができました。何人かの生徒は日本語も話すことができ、日本語でわかりやすく説明してくれました。ミニランタン作りでは台湾の文化に触れながら、楽しく交流することができて良かったです。同世代の子と積極的に話をして、たくさんのことを学べて本当に良

かったです。今もSNSを使って生徒さんと話をしており、国際的な関係を持つことができ、これからもたくさん話したいと思いました。

台湾の観光施設の視察では、台湾の歴史を学ぶ良い経験となりました。お寺を訪れた際には、日本とは違う細かな模様が施してあったり、お供え物にも色んな意味が込められていたりなど雰囲気や外観を楽しみつつ多くのことを学びました。特に私は中正紀念堂という場所が印象に残っています。大理石でできた建物で階段が89段もあり、上から眺めた景色はとても素晴らしかったです。国立故宮博物館では日本統治時代のものがたくさんあり、日本との歴史的なつながりを感じました。台湾大学では遠野市の伊能嘉矩についてお話を聞いてきました。嘉矩が残した台湾民族の資料が台湾の歴史につながっていることをとても誇りに思いました。

干しリンゴのPRではネクストコモンズの協力によって現地の人に実際に食べてもらい、アンケートを取ることに成功しました。自分たちの力で現地の人に伝えることができたことは大きな成果だと思います。

このようにさまざまな経験を通して、積極的に自分の言葉で伝えようとすることでコミュニケーションをたくさんはかることができたり、日本と台湾の違いや共通点を見つけたりすることで歴史的な関係性を理解することができました。この派遣で自分自身が成長でき、また今後につながる良い経験となりました。

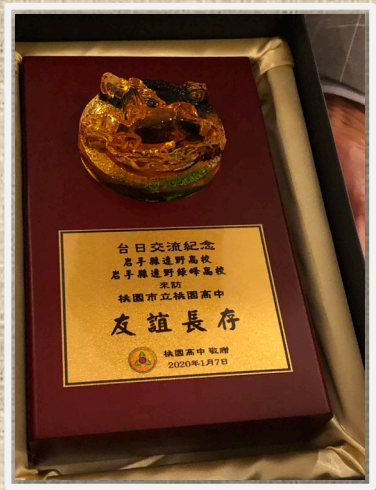
### 台北の紹介 食べ物

おいしいものがたくさんある台湾！特においしかったのが小籠包と、今流行りのタピオカミルクティー！本場の味にみんな幸せそうでした。他にも色々なものがあるので是非食べてもらいたいです。

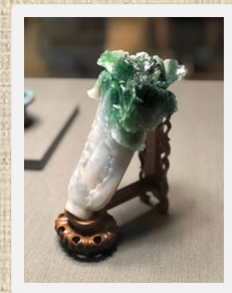
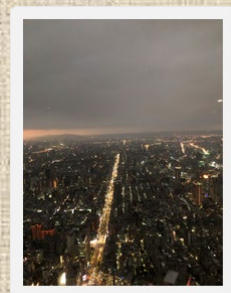




IREI. Yuki









## 1 テーマ設定の理由

外国に行き現地の生活に触れるのは初めてで、研修中に気になったことや思ったことがあったので、少し自分で調べながら台湾と日本の違いについて知りたかったから。

## 2 内容と結果

### (1) トイレについて

私が台湾で最初に驚いたのはトイレでした。台湾ではトイレに紙を流せないのが一般的です。しかし、最近は国の取り組みで水に流せるように進んでいるらしいのです。私たちが泊まったホテルが流せないのが初日にとっても戸惑いました。日本のトイレが便利過ぎるのかもしれませんが、台湾も変わっていき、便利になるならとてもいいと思いました。

### (2) 交通について

台湾ではバイクに乗る人が大勢いるらしく、日本よりもバイクをたくさん見かけました。台湾の道路では信号機の手前や歩道にバイク専用のスペースがあるくらいです。バイクが多い要因はレンタル料の安さや免許の取りやすさ、バイクに適している町の作りなどの理由がありそうです。

台湾のバイクの運転手は、かなり道路の内側を走ったりアーケード内も普通に走ったりするので、ぶつかりそうで怖かったです。あまりに多いバイクが原因で環境破壊に繋がるので何らかの対策が必要だと思います。

### (3) 料理について

台湾では食について感じるものがたくさんありました。

まず、お茶は無糖と書かれていない限りは全部甘く、不思議な感覚でした。

あとは、中華料理の代表的な食べ物の小籠包などはとてもおいしく、いろんな料理にしょうがを使っていたり、辛かったりしたのが印象的でした。屋台の料理などはおいしいものもありましたが、味付けがしょっぱかったり、味がよく分からなかったりと味に慣れるのには時間が掛かりそうです。

## 3 まとめ

今回の派遣研修で、交通面では日本の方が安全だと思いました。衛生面では、トイレや空気が少し環境に良くないと感じました。食べ物は基本的に辛いものが多く台湾らしさが出ているのかなと思いました。

台湾と日本の違いを現地で感じてみて、それぞれの文化の良いところを共有などしてよりよい国際交流ができるといいなと思います。





## 研修全体を通して感じたことや学んだこと 「台湾派遣に参加して」

遠野緑峰高等学校 2年 伊禮 優貴

私は今回の台湾派遣に参加して人生で初めて異国の地で文化を学び交流をすることができました。

今回の派遣での課題は、台湾で商機のある遠野の物産を探ることと遠野の魅力と地元の干しりんごをPRすることで、事前研修では、伊能嘉矩についてや遠野を紹介するスライドの作成および英語での発表、歌の練習、少し中国語の練習、台湾での注意点など準備をしました。

台湾に着いて最初に桃園高級中学校との交流がありました。緑峰生は初めて会ったのですが、桃園高級中学校の生徒達は少し日本語でも話してくれて、こちらが分からないようなら分かるように説明してくれたり、とても優しくかったです。校長先生もにこやかで、いい学校なんだなと思いました。話しかけるときに戸惑ったりしましたが、向こうからも話しかけてくれました。ですが自分の英語力の無さで話が思うようにできなかったのが心残りです。

博物館などでは、台湾の歴史に触れ、台湾の人々の現在に至るまでの経緯や昔ほどのような場所だったのか、伊能嘉矩が台湾原住民の研究で台湾にとっても貢献したことを現地で学ぶことができました。

台湾にもスカイツリーのような建物で台北101という名前なのですが101(いれい)で語呂が合いとても親近感を覚えたのが印象に残っています。

干しりんごのアンケートを取るとき、自分はあまり他人と話すのが得意ではないので、緊張して上手く伝わらなかったり、相手の言葉を聞き取れなかったりとありましたが、グループの人に助けられました。ここでも

自分のコミュニケーション力の低さを知り、英語や自前に中国語の言葉を勉強しておくべきだったと思いました。

今回の派遣全体で思ったことは、大事なことはコミュニケーション能力だと思いました。人と話すときに恥ずかしがったり、もぞもぞしゃべったりすると会話が続かなかったり、自分の思いを伝えられないなど今回の研修中に強く思いました。私は今回の経験で知らない人でも恥ずかしがらずに自分から話しかけたりすることでコミュニケーション能力を鍛えていきたいです。今回台湾の人達との交流という貴重な経験をさせていただきました。今回学んだこと、感じたことを将来に活かし将来の自分のために役立てたいと思います。

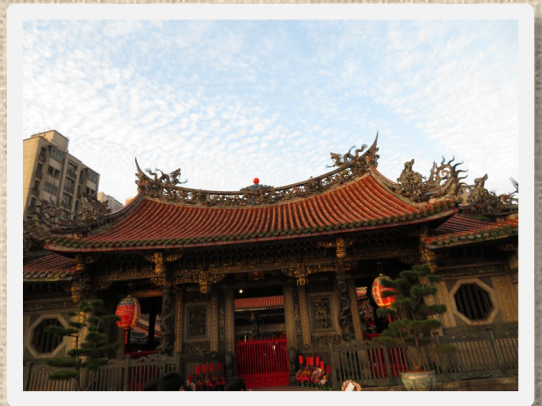
最後に、研修中は先生方や財団の及川さんガイドの林さんやのおかげでケガなども無く無事に終わることができました。ありがとうございました。

### 台北の紹介

#### 台北 101

地上 101 階の建物で 89 階に展望台があり、そこまでは世界最速のエレベーターで昇るのですが、夕方などは日の入りがしっかり見え、街並みと一緒にとてもきれいでした。正月などは横から花火も打ち上げられるみたいなので、見てみたい人はぜひ行ってみてください。

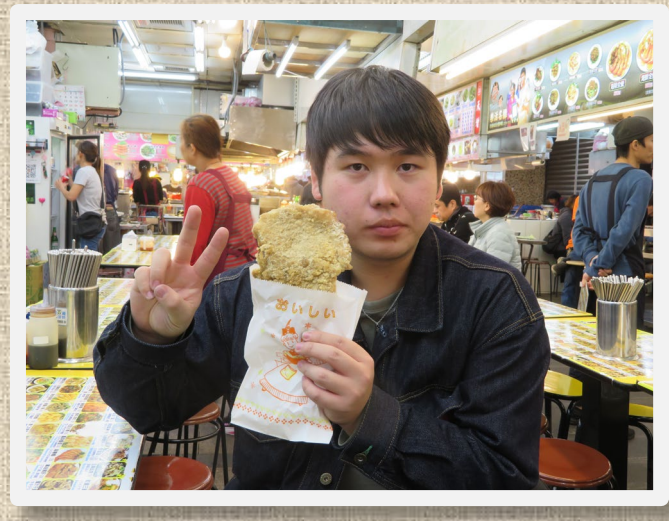




# TADA, Ryoma









## 1 テーマ設定の理由

日本で食べられる台湾料理と本場との味の違いが気になったから。また、どのような食生活を送っているのか気になったから。

## 2 内容と結果

### (1) ハンバーガーについて

僕は台湾で毎日ハンバーガーを食べてきました。僕が行ったのは、マクドナルドとモスバーガーです。

マクドナルドには、台湾限定のハンバーガーがありました。僕は、ビーフを食べたのですが、とても肉肉しくて、肉を食べる感覚がとてもあり、日本にもほしいなと思いました。他にも、ナゲットを頼みました。日本の普段食べているソースとは違く、独特な感じのソースで僕は、あまり好みではありませんでした。沢山のメニューがありましたが、日本と違うのは、チキンナゲット10ピース入りが売っていたり、ハンバーガーだけではなくケンタッキーみたいなフライドチキンが売っていたこと、ジュースのサイズは、セットにすると全て日本で言うLサイズと言った違いがありました。台湾モスバーガーは、ハンバーガーの中の野菜のフレッシュさがなかったところが日本との違いだと思いました。

### (2) 夜市について

僕たちは、夜遅めに行きましたが、台湾は、家で作って食べるのではなく外食や買って食べるが多いため、人が沢山いました。夜市は、屋台が多くて毎日がお祭りみたいでした。僕は、チキンカツを食べてきました。スパイスがとても効いていて顔より大きくてジューシーでうまかったです。

### (3) 小籠包、角煮について

豚の角煮は、八角が入っていないお店に行って食べて、トロトロでとてもおいしかったです。小籠包は、全てが手作りでみんな5個ずつ食べたのですが、5個は一瞬で無くなり、無限に食べれるくらいとてもおいしくてまた本場で食べたいです。

### (4) マンゴーかき氷、タピオカドリンクについて

本場のマンゴーかき氷を食べてきて、どこを食べてもマンゴーで、初めてでしたが、本場が食べられてよかったです。

本場のタピオカドリンクを飲んできて、桃園高級中学校でお昼ご飯と一緒に食べた時にも出てくるくらい台湾では普通なこと、基本的に台湾の飲み物は甘かったです。タピオカはあまり甘すぎずとてもおいしかったです。

## 3 まとめ

台湾の食べ物や飲み物で思ったことは、独特なスパイスが効いていた。飲み物は、基本甘いこと。

日本でも、小籠包やタピオカドリンクなど食べたり、飲んだりできますが、本場だけのおいしさがあるので行って味わってみるといいと思います。

自炊をするより、買って来たり外食が当たり前ということ。



研修全体を通して感じたことや学んだこと

## 「台湾で学んだこと・楽しかったこと・思い出」

遠野緑峰高等学校 2年 多田 凌磨

この研修で一番印象に残ったことは、桃園高級中学校との交流です。桃園高級中学校に行ってみて、最初は馴染めずにいましたが、生徒のみんなはとてもフレンドリーで、一緒にスカイランタンを作ったり、ご飯を食べたりして一気に距離が縮まり、たくさん話したり写真を撮ったりしてとても楽しかったです。また、校内がとても広くて、充実した高校生活が送れそうだと思います。

桃園高級中学校の生徒たちと触れ合っただけで、言語が通じなくても明るく積極的にアピールすることが大事だと思います。

故宮博物院に行って、石で作った白菜や青銅土器など様々な歴史のものがあるところで、翠玉白菜はとても綺麗で、こんな色の石があるのにもびっくりしました。

この日の夜には、台湾のレストラン「欣葉」に行きました。あちらでは、庶民的な食べ物の豚の角煮や様々なコース料理を食べて、豚の角煮は、トロトロでとても美味しくかったです。

台湾ではとても有名な遠野出身の伊能嘉矩について学ぶために、国立台湾大学の図書館に行きました。伊能嘉矩が遠野と台湾をつなぐ架け橋になっているのが、話を聞いていてとても感じました。

台北 101 の展望台に行ってみて、時間が夕方の日が沈み始めたあたりで、とても景色が綺麗でした。さらに屋上があり行ってみたら、外の風をととても感じることもできる生の景色になるので、また違った景色でとても綺麗で心が安らぎました。屋上があるところが、日本と違うなと思います、日本にも出来ても良いのかなと思います。

台湾で干しリンゴのアピールをしてきて、台湾の方々は、嫌がることなく協力してくださいました。最初はどうやって声をかけようと、一人の人を狙っていましたが、だんだん慣れてきて、複数人や男女でいるところに声をかけたり出来て、短い時間でしたが自分たちの伝えることの出来るすべてを出せたので良かったです。2種類の干しりんごを用意して台湾の人たちに人気だったのは、甘いほうで、お茶などにも砂糖が入っていたりしたので、甘い方が良いということがわかりました。しかし、アンケートの内容が分かりにくかったので、工夫が必要だと思います。

ホテルの近くにあったマクドナルドをほぼ毎日食べて最終日の日には、マクドナルドとモスバーガー両方を食べてきました。3つも食べたので、帰ってくる時にお腹を下しましたが、台湾だけの、マクドナルドとモスバーガーを食べられたので良かったです。

とても楽しい、4泊5日の研修に出来ました。

### 台北の紹介

・台湾に行ったら、食べておきたい物  
BEST 3 は小籠包・マンゴーかき氷・タピオカ

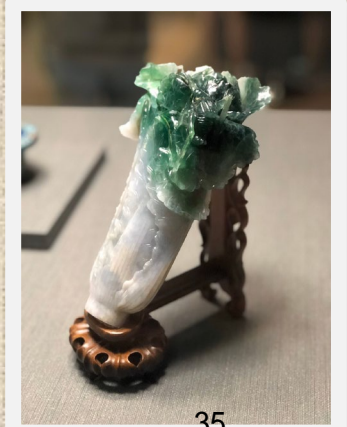
・台湾に行ったら、行っておくべき所  
台北 101 展望台から見る、夕方から夜の景色は、とても綺麗で日本と違って、屋上にも行けるよ。さらに、年越しには、すごい花火が台北 101 で見られるので、年越しに行くのもおすすめです。

現地の方は、とても優しいので、ぜひ台湾に行ってみてください。

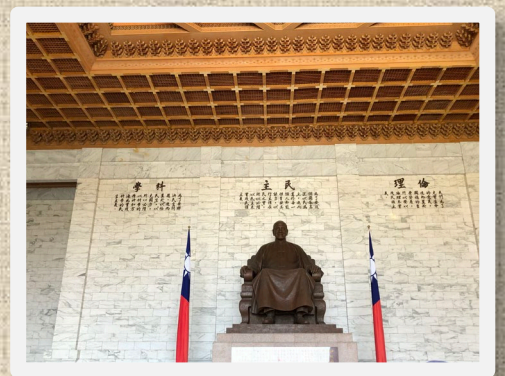
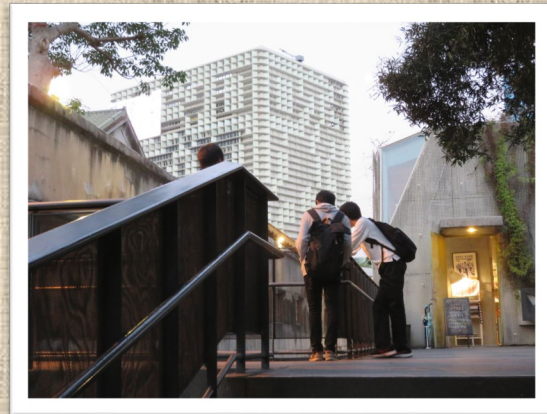




# KIKUCHI, Shun









## 1 テーマ設定の理由

台湾に実際行ってみて、日本と台湾では、違う部分が多くあったから。

## 2 内容と結果

### (1) 交通面

台湾に行って一番日本と違うと感じたのは、運転の荒さです。まず車やバイクが、スピードをかなり出すと感じました。実際私たちが乗ったバスも運転が丁寧とは言えず、かなり荒い印象です。私は、一番後ろの席に座りましたが揺れすぎてアトラクションかと思いました。

このことについて、台湾に住んでいる日本人に話を聞いてみたところ、やはり台湾の人は、運転が日本より荒く、事故も多いそうです。

とにかくバイクが多くバスの間なども平気で通っていて怖く感じました。

### (2) 建物について

今回台湾で多くの建物を見ました。その中で感じたのは、中国系の建物と日本系の建物があることです。

台湾は、日本が統治していた時期もあり日本文化と中国系の文化が混ざった建物だと思いました。



### (3) 右側通行について

エスカレーターには何回も乗りましたが、台湾では、右側に乗り左を開けておくという張り紙がありました。これは日本と逆でした。車も同様に日本とは、逆でした。

### (4) 食事のマナーについて

日本では、麺を食べるとき音を立てる人が多いですが、台湾では、それはマナーが悪いとされるようです。

### (5) 地下鉄について

今回の移動手段は、主に地下鉄でした。日本と比べて発達していると感じた部分がありました。それは、電車が来ないとゲートが開かないというシステムです。日本では、電車での事故がありますが台湾の地下鉄のような設備があればかなり減ると感じました。

## 3 まとめ

今回の研修では、日本と台湾の違いについて、多くのことを感じました。夜市にも行きましたが、台湾は、夜市が毎日開かれていることから夜型の生活なのかと思いました。夜市では、店のひとが日本語で話しかけてくれ親日家とは聞いていましたが本当に親日家なのだなと思いました。

トイレ問題（紙が流せない）もありましたが、地下鉄の整備など日本にもまだまだ課題があると感じました。異国の文化に触れたことで、日本の気づけなかった良い部分もわかりました。



## 研修全体を通して感じたことや学んだこと 「台湾派遣で学んだこと」

遠野緑峰高等学校 2年 菊池 俊

今回私たちが台湾派遣に行くにあたってミッションがありました。その内容は「台湾で商機のある遠野の物産を発見すること」「台湾の人達に対する遠野へのインバウンド誘致（修学旅行誘致）」でした。

私たちは、台湾で商機ある遠野の物産として、干しりんごを台湾にもっていきアンケートを取ってきました。台湾に行く前私はアンケートを取るときにうまく伝えることができるか心配していました。しかし実際は、自分から声をかけ、良い回答を得ることができました。これは、私のアンケートに答えていただいた人達がとてもいい人だったからです。私の不慣れな英語でも親切に対応してくださりありがたく思いました。

台湾の人達に対するインバウンド誘致（修学旅行誘致）は、私たちは、桃園高級中学校で遠野の魅力についてプレゼンテーションをしました。台湾の気候は、日本より温暖なことから雪に興味があったようです。遠野は最近雪が少ないですが、冬のイベントなんかもあるといいと思いました。JAPAN RAIL CAFÉに行った際、実際に体験できる場所があるといいというアドバイスをいただいたので、遠野でも自然の豊かさや遠野の伝統について面白く体験できるような場所が必要だと思いました。

台湾研修全体を通して感じたことや学んだことはコミュニケーション能力の重要さです。私は、今回の研修で自分から積極的に話しかけることを意識して臨みました。桃園高級中学校では、私も話しかけるようにしていたのですが、それよりも桃園高級中学校の生徒が初対面である私たちにフレンドリーに話しかけてくれ、私もまだまだだなと思いました。

今回この台湾研修があるといわれたときすぐに応募はできませんでした。理由は、台湾がどのような場所なのかかわからず、不安があったからです。一方には、一度は日本を出て外国の文化に触れたいという気持ちもありました。日本は先進国だとされていますが、英語教育では、アジアの中でも下の方だということも知っていました。実際日本と比べてどれだけ後退しているのかを肌で感じ英語をもっと学びたいと感じました。

この台湾研修は、いま振り返ると本当に有意義な時間だったと感じます。理由は、ただの旅行ではなく遠野をPRするという明確なミッションのおかげで適度の緊張感があったからだと思います。観光地にも連れて行ってくださりとてもいい経験になりました。

今回の研修で得たことをこれからの生活に生かしていきたいです。

最後に、財団の及川さんはじめ皆さんにとっても感謝しています、ありがとうございました。

### 台北の紹介

#### 【台北 101】

展望台があり台北市内を一望することができる。台北 101 はイベントの際イルミネーションや花火などがありとても綺麗な場所なのでおすすめ

#### 【夜市】

日本の屋台とも似ているが日本とは違い台湾独特の雰囲気味わうことができる。特に規模が大きいのは、士林夜市は台湾の夜市の中でも最大規模でおすすめ



# 遠野の物産品のPRとアンケート調査結果について

## 1 調査内容

### (1) 目的

遠野の物産品を試食してもらい、アンケート調査を行う。台湾でのニーズを調査する。

(2) 日 ち： 2020年1月9日

(3) 場 所： 華山1914文創園区

### (4) 調査方法：

2チームに分かれ、アンケート調査をおこなった。アンケート用紙は各自チームで作成した。

## 2 内容と結果

### 【Aチーム】

メンバー：小笠原、畠、多田、菊池(俊)

### (1) 調査数 計17名

- ・世代別：10代 (1名)  
20代 (10名)  
30代 (2名)  
40代 (4名)

### (2) アンケート結果

#### Q1 以下項目の評価

	評価 (5段階評価の平均値)
味	4.0
価格	3.8
見た目	4.3
食べやすさ、食感	4.2

#### Q2 何と合わせて食べたいですか。

(※食べ方のアレンジ等)

- ・ヨーグルト、シリアル 2名
- ・そのままよい 2名
- ・コーヒーやお茶のお供に。 4名
- ・他 未回答

#### Q3 ドライにして食べたいフルーツは？

- ・バナナ 5名、・マンゴー 5名
- ・ピーチ 2名
- ・その他 グアバ、メロン、プルーン  
パイナップル、ストロベリー、ブルーベリー等

#### Q4 その他

- ・スナック感覚で手軽に食べれる。
- ・ドライフルーツは好きだが、フレッシュなフルーツの方が好み。

### 【Bチーム】

メンバー：阿部、下関、菊池(妃)、伊禮

### (1) 調査数 計14名

- ・世代別：10代 (0名)  
20代 (8名)  
30代 (2名)  
40代 (2名)  
未回答 (2名)

### (2) アンケート結果

#### Q1 以下項目の評価

	評価 (5段階評価の平均値)
味	4.0
見た目	3.2

#### Q2 好みの干しリンゴの種類は？

- ・紅玉 7名
- ・サン津軽 3名
- ・他 未回答

#### Q3 誰に勧めたいですか。

- ・友人 5名 ・子供 3名
- ・家族 4名 ・他 未回答



#### Q4 何と一緒に食べたいですか。

- ・ コーヒーやお茶のお供に 2名
- ・ ビールのお供に 1名
- ・ 仕事の合間、お風呂上り ほか

#### Q5 いつ食べたいですか。

- ・ 仕事の合間、お風呂上り
- ・ おやつ時間、朝 など

#### Q6 その他・感想等

- ・ とても美味しい。
- ・ イメージしていた見た目と異なっていたが、もちもちの食感が面白く新しい。
- ・ もっとジューシーなもの好み
- ・ 見た目がクッキーに似ている。

### 3 まとめ

#### (1) 台湾での反応について

- ・ 試食した方の反応は好評だった。
- ・ 甘いりんごの種類(紅玉)が比較の人気だった。台湾はお茶等も甘いものが多く、甘いほうが好きなのではないか。
- ・ パッケージは高評価であった。しかし、中身が見えないので、干しりんごを想像しにくかったようだった。

#### (2) アピールするための工夫等

- ・ 商品に関心を持った人が、海外から問い合わせできるように、チラシにWEBサイトのアドレスや、QRコード載せると良い。
- ・ 華山 1914 文創園區では、日本のテナントも入っていた。日本の物産品も置いてあった。そういったお店に置いてもらうよう働きかけるのもよいと思う。

### 4 改善点

- ・ ただ質問するだけではなく、なぜそう思うのか、一歩進んで聞くことができればよかった。

- ・ 調査した人たちからは好評だった。学生などにアンケートが取れなかったのも、他の年代からの評価が気になる所。
- ・ 伝えたいことを英語の文章に直す難しさを学んだ。

#### <参考資料>



松陽園の干しりんご



事前研修で商品についてレクチャー



現地でのアンケートの様子

## We love Taiwan! 台湾研修の成果と価値

岩手県立遠野高等学校 教諭 朝倉 雄大

まずは、今回の台湾研修に引率者の一人として参加させて頂き、お陰様で大きな事故・怪我等もなく無事に全日程を終えることができました。ありがとうございました。

今回の研修日程では、大きく次の3つのテーマがありました。

### ①桃園高級中等学校との交流 ②台湾大学視察研修 ③ビジネス研修

これらのテーマに基づいて内容の濃いプログラムが準備されました。派遣生諸君は、事前研修の段階から全てにおいて明るく前向きに取り組みました。周囲からの期待を真摯に受け止めつつ、「楽しんで来て」という多くの温かい励ましがあったからだと思います。

今回の研修の成果としては、何よりしっかりと国際交流できたことが一番です。国際社会において、言葉や挨拶を交わし互いの文化を理解し合うことは大切なことです。その意味で直接交流の場面が多かったことはとても良かったと思います。また、台湾の現地で実際に活躍する日本人の方々との出会いもありました。皆さん个性的で魅力的でした。派遣生にとって「海外で働く、暮らす」あるいは「起業する」ことが、感覚的に身近なものとして捉えるきっかけにつながるのではないかと思います。これもまた貴重な経験でした。

また、研修に際して多くの方々にご支援等頂きました。以下、ご紹介します。

事前研修では、

- ・岩台朋友会の菅沼則行さん（台湾のイロハを教えてくださいました）
- ・遠野市立博物館の長谷川浩さん（伊能嘉矩の生涯などについて教えてくださいました）
- ・松陽園さん（干しリンゴについて、販売までの経緯や思いを話して頂きました）

現地では、

- ・桃園高級中等学校の游文聰校長先生（サービス精神旺盛）はじめ諸先生方
- ・台湾大学図書館特蔵組織審の阮詔薇さん（通称ビビアンさん、記念写真大好き）
- ・台湾大学人類学研究所博士班の村上優さん（台湾原住民の解説スペシャリストの才媛）
- ・J R 東日本創造旅遊の福木厚さん（まさに海外の第一線で活躍するビジネスマン）
- ・ネクストコモンズ台湾拠点代表の鈴木宏明さん（街頭調査に向けた的確なアドバイス）
- ・大東文化大学の渡辺珠絵さん（交換留学生、細かい現地情報に精通）
- ・神明さん（本質ズバリの脱サラエリート、緑峰グッズの帽子&タオルがお気に入り）
- ・通訳ガイドの林裕祥さん（通称リンさん、小柄でお茶目、お世話好き）

以上の方々には深く感謝申し上げます。引率として同行した遠野緑峰高校の小松咲子先生、遠野市教育文化振興財団の及川敏恵さんにも同様に感謝申し上げます。特に敏恵さんには、企画から運営に至るまでの全過程を丁寧に手がけて頂きました。そして、遠野市並びに遠野市姉妹都市等交流事業実行委員会をはじめとする各関係機関の皆様、本当にありがとうございました。

最後になりますが、今回改めて台湾研修が大きな意味を持つものであると実感しました。遠野と台湾の関係性は普遍的価値があります。伊能嘉矩の台湾原住民に関する調査・研究は、当時すでに失われつつあった固有文化を現代に引き継いだ貴重なもので、唯一無二です。嘉矩が結果的に切り拓いた遠野と台湾のつながりは、より強固な結びつきに発展する可能性を秘めています。この台湾研修が今後とも継続実施されることを大いに期待しています。

（左写真：桃園高級中学校の游校長先生と）





## 海外に行ってこそ日本や遠野の文化を芯に学べる

岩手県立遠野緑峰高等学校 教諭 小松 咲子

関心があっても、なかなか行くことができない外国。今回私に、台湾研修の引率というチャンスが訪れました。生徒たちと無事に帰ってくることを第一に心に留めながら、私も一研修生として外国文化を肌で感じてまいりました。

私は家庭科教員（というより持ち前の食欲旺盛）なので、特に生活文化に関する学習でこれからの教育活動に還元したいと思っています。そこで、今回の台湾研修のポイントを「台湾の衣食住と人」というテーマで紹介します。

### (1) 衣生活…国立台湾大学の博物館

村上さんという大学院生の方が、きめ細やかに台湾の民族について教えてくれた。少数民族の部族が正式に認められる条件は、独自の言語、定期的な儀礼、服装がそろっていることだそうだ。各部族の独自の文様の織物が多数展示してあり、着装で示すアイデンティティの重要性を再認識しました。

### (2) 食生活…おなじみの小籠包、マンゴーかき氷、タピオカミルクティーは「好吃！」<sup>ハオチー</sup>

家でほとんど自炊をせず、外の店や屋台などで食事をすませる文化。台北は大都会なのでコンビニも日本以上に多かったが、台湾人の食生活上の問題点や栄養指導はどうか？ 子どもに食事のマナーをしつけることはあるのか？ など、深まる疑問。お土産定番のパイナップルケーキも自分で作ってみたくて、おいしそうなレシピを検索中。

### (3) 住生活…華山 1914 文創園區

日本の統治時代の古い酒蔵を、若者向けの華やかな文化施設にリノベーションしている一帯。このような文化区の開発は国策らしい。日本も空き家対策が必須となっており、リノベは加速するはず。こんなオシャレなところで遠野のピンクのハッピーを着てアンケート調査をした派遣生を見て、「若さは最大の武器」と思いました。

### (4) 人…伊能嘉矩をはじめとする郷土の偉人

もともと水沢三偉人の一人・後藤新平推しであった私。台湾を統治した彼も台湾では英雄に値するが、これほどまでに緻密にそして命がけで台湾の民族調査をした伊能嘉矩はそれに匹敵するといっても過言ではない。遠野では郷土の偉人として彼の展示資料館を作って紹介したり（ゆるキャラ『かのりん』を公募したり）、小中高とおして総合学習などで学んでほしいと強く感じました。

この研修では、遠野市と遠野市教育文化振興財団の皆様をはじめ、桃園高級中学校・台湾大学、ネクストコモンズ、ガイドの林さん、そして遠野・遠野緑峰両校の方々に大変お世話になりました。心から感謝申し上げます。及川さんと朝倉先生にも謝謝！



## 台湾での研修を終えて

一般財団法人 遠野市教育文化振興財団 及川 敏恵

高校生海外派遣交流事業として初めての台湾派遣でしたが、無事にプログラムを終えることができたのは、共に引率を務めていただいた朝倉先生、小松先生はじめ関係者の皆様方のおかげです。まずは改めて皆様に心から感謝申し上げます。

研修中の派遣生の姿には、いくつか印象的な場面がありました。まずひとつは、桃園高級中学校での教育交流です。印象深かったのは、別れ際にポロリと涙をこぼし、生徒同士がハグをしていた姿です。バスが出発しても、互いの姿が見えなくなるまで手を振り続けていました。桃園高級中学校では、歓迎式や校内ツアー、スカイランタンづくり、そして昨年12月に遠野緑峰高校を訪問した生徒達と派遣生が再会する場も設けてくださいました。台湾で、そして日本で、互いに心を込めて交流をしたことよって、双方の関係をより深く育むことができたのだと思います。

ふたつ目は、ネクストコモンズのメンバーにご協力いただいたビジネス研修です。フィールドワークでは街に繰り出し、遠野の物産品のPRやニーズ調査をおこないました。知らない人に話しかけることは、派遣生達も不安や緊張があったと思います。しかし、それを乗り越えコミュニケーションをとっていく過程で、表情がどんどん変わっていったのが印象的でした。ネクストコモンズの方々は、的確なアドバイスと「問い」を提示しながら派遣生自身で答えを見出していくようにプログラムを進めてくださいました。言語や文化の違いの中、伝わる嬉しさ、そして伝える難しさを肌で感じながら、物産品のPRを試行錯誤する機会となったと思います。

また、今回のプログラムを通しては、現地で活躍する様々な日本人の方々に出会いました。文化人類学の研究者(国立台湾大学)、大手企業で働くビジネスマン(Atre Japan Rail café)、起業家(ネクストコモンズ)、それぞれ分野は異なりますが、ひとことで「海外で働く」といっても様々な道があり、生き方も多様です。インターネットが発達した現代では、クリックひとつで情報が手に入りますが、実際の現地で身をもって学んだことは何よりも代えがたいものだと感じます。今回の研修でそれぞれが実感したことが種となり時間をかけて育みながら、将来に花咲いていくことを願っています。

さて、個人的に印象に残っていることも二つあります。ひとつは、グローバルに展開する企業(JR等)の視野の広さと視座の深さです。旅行者の視点から考えると、点(遠野)ではなく面(岩手・東北などの広い範囲)で行先を決めることが多いそうです。その話題の中からミクロとマクロな視点を両方持つことの大切さと、ビジネスを行う上での客観性と説得力を感じました。そして二つ目は、かねてから関心があった伊能嘉矩についてです。日本の統治が行き渡る前の台湾において、言葉も通じない中、原住民族の村々に入り調査研究をしたこと、そしてそれが現在、台湾の歴史を知る上での礎になっていること、一人の遠野人がそれを成したという事実には、驚きとともに感動をおぼえます。そして、彼の功績が遠野の中だけではなく、台湾の人々によっても受け継がれているということに、伊能嘉矩がまぎれもなく遠野と台湾の架け橋であることを改めて感じました。機会があれば、今度は伊能が歩いた村々を訪れてみたいと思います。







令和元年度  
高校生海外派遣交流事業  
報告書

# 你好台湾

主催:遠野市姉妹都市等交流事業実行委員会  
事務局:一般財団法人遠野市教育文化振興財団  
〒028-0524 遠野市新町1番10号  
電話:0198-62-6191 FAX:0198-62-6195  
HP:<http://tono-ecf.or.jp>  
FB:<https://www.facebook.com/tono.e.c.f>

滞在の様子は財団の  
フェイスブックページに  
も掲載しています。  
財団FBのQRコード➡

